

11月 18-24 日

詩編 107-108 編

7 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1 分) 滝 | 伊藤 勇一

## 神の言葉の宝

### 1. 「エホバに感謝せよ。神は善い方」 (10 分) 有田 悟

エホバは、イスラエルをバビロンから救出したように、私たちがサタンの世界から救い出してくださった。(詩 107:1, 2。コロ 1:13, 14)

エホバへの感謝の気持ちから、会衆の中でエホバを賛美する。(詩 107:31, 32。塔 07 4/15 20 ページ 2 節)

エホバが示してくださっている愛についてじっくり考えるなら、感謝の気持ちが深まる。(詩 107:43。塔 15 1/15 9 ページ 4 節)



### 2. 宝石を探し出す (10 分) 阿部 直生

詩 108:9 モアブは私のたらい。私はエドムの上に自分のサンダルを投げる。フィリスティアに対して勝利の叫びを上げる」。

どんな出来事に関連して、エホバはモアブを「たらい」や「洗い盤」に例えたと思われるか。

(洞-2 985 ページ 3 節) 後に、ダビデ自身が王として支配した時にも、イスラエルとモアブの間に戦いがありました。モアブ人は完全に従えられ、ダビデに貢ぎ物を払わされました。その戦いの終わりに、モアブの戦う者の 3 分の 2 は殺されたものと思われます。ダビデは彼らを地面に一列に横たわらせてから、その列を測って 3 分の 2 を殺すことに決め、3 分の 1 を生かしておくことにしたようです。(サム二 8:2, 11, 12; 代一 18:2, 11) 恐らくその同じ戦いの間に、エホヤダの子ベナヤは「モアブのアリエルの二人の子を打ち倒し」ました。(サム二 23:20; 代一 11:22) モアブ人に対するダビデの決定的な勝利は、「星が必ずヤコブから進み出、笏がまさしくイスラエルから起こる。そして彼は必ずモアブのこめかみを割り、戦乱の子らすべての頭蓋<sup>ずがい</sup>を割る」という、400 年以上前に述べられたバラムの預言の言葉の成就でした。(民 24:17) やはりこの勝利に関連してのことと思われるが、詩編作者は神がモアブをご自分の「洗い盤<sup>ぼん</sup>(改定/たらい)」とみなされたことを語っています。—詩 60:8; 108:9。\*\*\* 洞-1 1026 ページ サンダル \*\*\* エドムに対する

侮べつを示唆していたとも考えられます。同じ聖句の中で、モアブは「わたしの洗い盤」と呼ばれているからです。今日、中東では、サンダルを投げるのが侮べつの身ぶりとなっています。神の民に敵対する者たちが必ず終わりを迎え、その人たちのことを心配する必要が無い事学べる

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。(107:6、13、19、28 など) ほぼ自分たちのせいで苦難を経験するようになってからも助けを求めると、エホバは何度でも助けてくださって、ご自分の民の祈願に必ず応えてくださること確信できる。私たちも自分の問題について、特に宣教面でもっと真剣に具体的にエホバに助けを求めて行く必要があると感じた。

### 3. 聖書朗読 長谷川 瑛一

(4分) [詩 107:1-28](#) ([教励 第5課](#))

## 野外奉仕に励む

### 4. 会話を始める 宮城 ひかる 愛込 1-4 金刺 亜以子

(3分) 日常生活で。([愛込 レッスン1 ポイント4](#))

### 5. 再び話し合う 金刺 由里子 愛込 9-3 田島 マヤ

(4分) 日常生活で。聖書レッスンについて話し、聖書レッスン紹介用コンタクトカードを渡す。  
([愛込 レッスン9 ポイント3](#))

### 6. 話 有川 聖七

(5分) [イ尋 90](#) 主題: マイナス思考をやめるには。([教励 第14課](#))

## クリスチャンとして生活する

### 46 番の歌

### 7. 歌でエホバへの感謝を表す (15分) 討議。 田中 慶一

イスラエル人は、紅海で強力なエジプト軍から救出された時、エホバへの感謝の気持ちにあふれて歌いました。(出 15:1-19) 率先して歌ったのは男性たちでした。(出 15:21) イエスや 1 世紀のクリスチャンも神を賛美して歌いました。(マタ 26:30。コロ 3:16) 私たちも会衆の集会や大会で歌い、エホバに感謝を表します。例えば、先ほど歌った「エホバ、私たちは感謝します」の歌は、1966 年以来集会で歌われてきました。

ある文化圏では、男性は人前で歌うことを恥ずかしく思うことがあります。歌うのは得意ではないという理由で、歌うのをためらう人もいます。でも、集会で歌うことは崇拝の一部です。エホバの組織は、美しい歌を作ることに力を注ぎ、毎回の集会で歌う歌を注意深く選んでいます。それで、兄弟姉妹と一緒に賛美の歌を歌い、エホバに心からの愛と感謝を表しましょう。

「JW ヒストリー 歌という贈り物 パート 2」の[動画を再生する](#)。次の質問をする。



## 1. 1944年にどんな出来事がありましたか。

1938～1944 まで集会で歌が歌われなくなった。大会では歌が歌われていたが、集会では歌われていなかった。兄弟姉妹は寂しく思っていた。米国ニューヨーク州バッファローの一致した告知者の神権大会に出席。16:30 フランズ兄弟、「王国奉仕の歌」という話をする。「神の地上の僕たちが高らかに声を上げて文字通りの歌をうたうのは相応しことであり、神に喜ばれること。」途中でネイサンノア兄弟がステージに上がり、フランズ兄弟に赤い冊子を手渡す。その後フランズ兄弟が「王国奉仕の歌」の本を発表する。兄弟は「この本を使って集会で歌が歌われるようになる」と言う。聴衆は大喜びする。

その後歌の本は何度か新しくなった。どれもエホバからの贈り物。「家から家に／1966 年」。1950 年版と 1966 年版の歌の本は、新しく発表されたクリスチャンギリシャ語聖書新世界訳の表現を使った。テーマも歌詞も新しくなり、間違った教えの影響を受けた表現は使われなくなった。王国奉仕の歌の本以降、作曲者と作詞者の名前は公表されなくなった。全ての栄誉はエホバのものだから。1984 年には、楽譜がシンプルになった。コードが載せられ、ギターやピアノで演奏し易くなった。レコード、カセットテープ、CD、電子ファイルも作られるようになった。王国会館でも家でも車でも歌えます。エホバの民は沢山の音楽を印刷版や録音版で楽しんできた。でも全ての場所の兄弟姉妹がそうできた訳ではない。

## 2. シベリアの兄弟姉妹が王国の歌を歌うことを大切にしていたことは、どんなことから分かりますか。

(パート 1) シベリアの兄弟姉妹は、賛美の歌を極秘で録音した。第二次世界大戦中、旧ソビエト連邦の兄弟姉妹は、厳しい反対に遭った。想像してみて。印刷版の出版物はほとんどない。手書きで書き写したものばかり。ものみの塔を持っているところを見つかったら、強制労働をさせられるか、シベリアに追放される。ロシア語で手に入った歌の本は、1928 年版のものだけ。ですから兄弟姉妹は、1984 年版も 1966 年版も 1950 年版も 1944 年版も持っていなかった。貴方ならどうする？歌うのをやめてしまうか？兄弟姉妹は覚えていた歌を心を込めて歌った。そして 1928 年版の歌の本を複製した。兄弟姉妹は非常に困難な時期にも歌い続けていた。何十年もそうしていた。そしてついに再び自由に歌えるようになる時が来た。1992 年に旧ソビエト連邦で初めて開かれた国際大会では、スタジアムに集まった何万人もの兄弟姉妹と一緒に歌う事ができた。でも最新の歌の本がないのにどうやって歌うのか？皆で一緒に歌が歌えるようにロシア語で歌詞が書かれた特別な冊子が用意された。

## 3. エホバの証人にとって歌うことが大切なのはなぜですか。

歌うことによってエホバとの絆が強まるから。歌うことによって聖書の真理が心に刻まれるから。賛美を歌うことによって、歌という贈り物をくださった音楽の創始者エホバへの感謝を表わせるから。

8. 会衆の聖書研究 (30 分) 徹 18 章 6-15 節 司会: 吉田 忍 朗読: 星 延宏

閉会の言葉 (3 分) | 73 番の歌と祈り 浮田 蒼